

現代中国語の副詞“就”

—複文を中心に—

宮 本 厚 子

摘要

在汉语语法研究中，对副词“就”有详细的研究，但对复句中的“就”的使用还需要做进一步的探讨。很多人认为在复句里，特别是条件句里，“就”是不可缺少的一个副词，但，在条件句中可以看到很多不帶“就”的现象。本文阐述了作为关联词“就”起的一些作用，并指出关联词“就”和说明时间的“就”之间也存在着某种联系。

0. はじめに

1. 条件文

1. 1 “就”と共に起する場合

1・1・1 “就”が必要な場合

1・1・2 “就”があってもなくても成立する場合

1. 2 “就”と共に起さない場合

1. 3 疑問詞疑問文と“就”

2. “因为p就q”

2. 1 前節を受けて、後節の命題qを導く場合

2. 2 “因为p就q”が文の成分となる場合

3. 時間的關係を表す“就”

4. まとめ

0. はじめに

現代中国語の“就”についての研究は、単文における“就”についてすでに詳細な研究が行われているが、複文における“就”は除外され、余り詳しい研究は見られない。本稿では、複文に現れる“就”について考察を試みる。

“就”が後節にあらわれる複文は、大きく分けて、①前節を受ける場合と、②前節と後節の行為の行われる時間が接近している場合がある。本稿では、まず①における“就”の働きについて考察する。また、②についても①と全く別個のものではなく、同じ線上のものであるということを指摘する。

1. 条件文

条件文には“就”は不可欠で、前節の“如果”“要是”などの接続詞と呼応する、一つの構文としてとらえることが多い。しかし、実際の文には“就”がない場合も多く見られるが、“就”の有無がその文に何をもちたすのかについて、これまで余り議論されてこなかった。例文をとって分類してみると、“就”が必ず必要な場合、あってはならない場合、どちらも可の場合の3つに分けられる。

1・1 “就”と共起する場合

1・1・1 “就”が必要な場合

1) 要是他不去，我就去。

もし彼が行かないのであれば、私は行く。

この文から、“要是p就q”のpとqの関係について次の2点を指摘できる。

I pとqが原因とその結果の関係、因果関係になっている。

上の例で言えば、“他不去”(p)が“我去了”(q)の原因になっている。

II 「pであればqである」という命題を示すと同時に、その裏である「pでなければqでない」をも示唆している。上の例で言えば、「“他不去”であ

れば“我去”の裏は“他去”ならば“我不去”であり、1) は“他去”ならば“我不去”であることも示唆している。

Ⅱについてももう少し補足すると、「pであればqである」、「pでなければqでない」の二つの条件が同時に成り立つならば、「pであればqでない（彼が行かなければ私は行かない）」或いは「pでないなら、qである（彼が行くなら私は行く）」という関係は成り立たなくなり、qがpの唯一の結果であることを示しているといえる。“不（是）p就（是）q”¹という構文もこれと同じものである。

では1) の場合、“就”を取ることはできないのかということ、それは可能である。ただその場合、“要是p就q”「pならばqである」は表すが、「pでなければqでない」という意味を同時に持つことはない。「彼が行かないなら私は行く」ことを言うのみで、彼が来ればどうなるかについては言及していない。これは、次の1. 1. 2の“就”があってもなくても成立する場合と同じである。“就”があると条件Ⅱを満たす命題は、“就”をつけないことによって、条件Ⅰのみを満たす文になる。

条件Ⅰ、Ⅱを満たす同様の例をあげる。

- 2) 指南针指的是正南方吗？这似乎是不成问题的问题，然而你如果用它对着北极星测量一下，就会发现：指南针指向的北方和北极星所表示的方向并不一致。（地）

コンパスが指しているのは真南の方向かというのは、問題にならない問題であろう。しかしながら、もし君がそれで北極星を測ったら、コンパスが指す北と北極星の示す方向が決して同じでないことを発見するだろう。

“用它对着北极星测量一下”と“会发现…”の間には、「コンパスで北極星を測る」ことをすると「…を発見することになる」という原因と結果の関係が見られる。また、“指南针指的是正南方吗？这似乎是不成问题的问题”という前提が示されているため、「コンパスで北極星を測らない」と「…を発見するこ

とはない」という関係も成り立っている。

3) 小青蛇说：“要是你愿意把我整天背在肩膀上，我就做你的儿子。”(3)

小さな青蛇は言いました。「もしあなたが私を1日中肩にしょってくれたら、ぼくはあなたの息子になりますよ」と。

一人ぼっちの老人が青蛇に、息子になってくれと頼んだのに対する返事である。

1・1・2 “就”があってもなくても成立する場合

4a) 如果有钱了，我就想到法国去旅游。

4b) 如果有钱了，我想到法国去旅游。

もしお金持ちになったら、私はフランスへ旅行に行きたい。

どちらも文として成り立つ。1. 1. 1で指摘した2つの条件についてみると、4a) はIは満たすが、IIについては満たしていない。“有钱了”(p)は原因で“我想到法国去旅游”(q)はその結果であると言える。しかし、IIの条件についていうと、「pでなければqでない」は「お金持ちにならなかったら私はフランスに行きたくない」であるが、この文はそれを示唆してもいない。

4a)の“就”は“如果”“要是”といった接続詞と同様、あってもなくても文意は変わらないが、あるとそこに因果関係があることがはっきりする。

5) 我们周围的物质真是形形色色、丰富多彩。如果要你把这些物质来分一分，你会毫不困难地指出，哪些是固体，哪些是液体，那些是气体。
(物)

私たちの周囲の物質はいろいろ多種多様である。もしあなたにこれらの物質を分けさせたなら、あなたは何の苦もなく、どれが固体で、どれが液体で、どれが気体かを指摘することができるだろう。

“就”のない例であるが、pとqは因果関係にある。しかし「pでなければqでない」は「もしあなたに～させないなら、あなたは何の苦もなく指摘することはない」になるが、この例はそれを示唆してもいない。“会”の前に、“就”

を置くこともできる。その方が因果関係がはっきりする。

“就”が必ずいる場合の“就”は、単文ですでに研究されている² 範列的な関係にある他の要素から取り立てるという用法と同じである。qを他の範列的な成分とは区別して限定しているのである。一方、あってもなくてもよいという“就”は、前節と因果関係を持つ結果を指し示す働きをしている。但し、その結果は唯一のものであるとは限らず、前節の条件から導き出されるある一つの結果を指し示しているのに過ぎない。

1. 2 “就”と共起しない場合

- 6) 老鳖听了很高兴, 说: “是啊, 在这条河里, 我的孩子数也数不清, 要是把它们排成队, 在这河面上, 可架两座桥呢!” (3)

すっぽんは聞くと喜び、「そうなんです。この川では私の子供は数えても数え切れません。もし彼らを列に並べたら、この川面に2本の橋がかけられます」と言いました。

1. 1の2つの条件Ⅰ、Ⅱは共にあてはまらない。

Ⅰについて言えば、“把它们排成队”(彼らを列に並べる)は“在这河面上, 可架两座桥”(この川面に2本の橋がかけられる)の原因ではないし、“在这河面上, 可架两座桥”(この川面に2本の橋がかけられる)が“把它们排成队”(彼らを列に並べる)の結果でもなく、因果関係はない。

Ⅱについては、6)の「pでなければqでない」は『「彼らを並ばせない」ならば「この川面に2本の橋をかけられない」』であるが、この文では示唆されていない。

その他の例を見る。

- 7) 然后他就寄来, 我就把他复印了一份儿, 如果你们要, 你们可以再复印一份儿, 很有意思。(语)

その後彼が送ってきましたので、私はそれを1部コピーしました。もし

あなた方が必要なら、もう一部コピーしてくださってかまいません。面白いですよ。

「あなた方が必要とする」と「コピーをとることができる」との間に、因果関係は見られない、つまり「あなた方が必要と」した結果「コピーをとることができる」というのではない。また、『あなた方が必要』でないならば「コピーをとることができ」ない』をこの例は示唆してもいない。

- 8) 糟了那封信上没写地址。这下连孙悟空也没有办法了。孙悟空给他俩出了个主意，他说：“小朋友，你们去问问北京的小朋友，他们准会帮助你们的。”(3)

困ったことに、その手紙には住所が書かれていません。これには孫悟空でさえどうしようもありません。孫悟空は彼ら2人にアイデアを出してくれ、「君たち、北京に行って北京の子供に聞けば、彼らはきっと君たちを助けてくれるよ」と言いました。

「北京の子供たちに尋ね」た結果が「きっと北京の子供たちが助けてくれるはず」ではない。『北京の子供たちに尋ね』ないなら、「きっと北京の子供たちは助けてくれない』も成り立たない。

- 9) “(略) 如果临死前，还来得及，还允许她说什么话，她也会说，她爱小沈。”(空)

「もし死ぬ前に、まだ間に合って、彼女がまだ何か言えたら、彼女はやはり瀧さんを愛してると言っただろうね」

この場合も「死ぬ前に彼女がまだ何か言える」ことが原因で、「彼女はやはり瀧さんを愛していると言った」という結果と招いたと言う関係ではない。

この例は“就”を“会”の前に置こうと思えば置くことができるが、その場合“就”は「しか」の意味となり、後節の訳は「彼女はやはり瀧さんを愛していると言っただけだろう」となる。

1. 3 疑問詞疑問文と“就”

疑問詞疑問文に“就”は普通用いられることはない。前節であれ、後節であ

れ、疑問詞があるということは、そこは不確定なものであるということである。これまでに考察した通り、“就”がある場合、少なくとも前節と後節の間に因果関係がなければならぬが、節のどちらかの命題がはっきり示されないということは、因果関係が成り立つかわからないということになる。よって“就”は共起しないと考えられる。

10) は後節に、11) は前節に疑問詞がある。

10) 他甚至质问：“要是多增加一辆车让他们濒临破产了，怎么办？”（语）

「もしもう一台車を増やして彼らを破産に追い込こんでしまったら、どうするのだ」と、彼は詰問さえする有様だった。

11) 那么，怎样才能保持皮肤健康和增进皮肤的抵抗力呢？（医）

それでは、どのようにすれば皮膚の健康を保ち、皮膚の抵抗力を増進できるのか。

条件文で前節に疑問詞がある疑問文の場合は、後節で呼応するのは“才”か、あるいは何もなければである。

疑問詞が条件文全体にかかっている場合は“就”があっても成立する。

12) 为什么钟破了就不响亮？（物）

なぜ鐘はこわれると音が響かないの？

“钟破了就不响亮”という条件文に疑問詞がかかっている。

2. “因为p就q”

複文のもう一つの構文として、“因为p就q”について考察する。“因为p就q”の用例は決して多く見られるものではないが、このパターンの“就”には二種類認められることを指摘したい。

2. 1 前節を受けて、後節の命題qを導く場合

13) 因为临时有事，就在长沙逗留了两天。（八）

急に用事ができた。そこで長沙に二日滞在した。

- 14) 他喜爱博览群书，因为买不起书，就常常站在洛阳的书摊旁翻阅，读后都能记住，渐渐成了一名博学的人。(语)

彼はいろいろな本を広く読むのを好んだが、本が買えなかったので、よく洛陽の露天の本屋の側で立ち読みし、読んだ後すべて記憶できたので、段々と博学な人になった。

“因为 p 所以 q”が p と q の間に原因・理由とその結果・結論という関係があることという表現であるのに対し、“因为 p 就 q”は、p と q の間に同様の関係は存在するが、同時に q が p が原因で導き出されることを動態として表す表現である。13) でいえば「急用ができた」ので「長沙に二日滞在した」という行為が行われたことをいう表現なのである。q は新情報である。

次の例は、接続詞“因为”はないが、同様に前節の原因・理由を受けて、その結果としての行為を“就”で導いている。

- 15) 我知道招待所有一架直拨长途电话，就去给北京我的一个战友关义打电话。(空)

僕は招待所に長距離電話を直通でかけられる電話が一台あるのを知っていたので、北京の私の戦友関義に電話をかけに行った。

- 16) 我实在受不了吃吃睡睡的闲居日子，就用复员时部队给的一笔钱去各地周游。(空)

僕は食っちゃ寝のぐうたら生活にどうにもたまらなくなったので、復員した時に部隊から支給された金で各地へ周遊に出かけた。

次の例は、二つの文から成り、後の文は、一つ目の文で示された内容を受けて行われた行為について述べていて、“就”は 15) 16) と同じ働きをしている。

- 17) 有的木头很不听话，单纯加热处理，它不肯软化。工人就得把木头先送进化学药品溶液里进行化学处理。(化)

ある木材はいうことをきかず、単純な加熱処理では柔らかくならない。そこで工具は木材をまず化学薬品の溶液につけ化学処理を行わなければならない。

1. で見た条件文と、ここで見た原因・理由をいう文は、前節と“就”で導かれた後節との間に、どちらも因果関係がある。条件文は、必ず未然の後節が来るのに対し、前節が原因・理由をいう場合は、後節が已然であつてもかまわない。上でみた例文も 17) を除けばすべて已然である。

2. 2 “因为p就q”が文の成分となる場合

もう一種類は、次のような例である。

18) 原材料价格上涨是一个普遍的现象，并不能因为原材料价格上涨就说中国经济增长“过热”。(语)

原材料の値上がりは普遍的な現象で、決して原材料が値上がりしたからといって中国経済の成長が「過熱」したとは言うことはできない。

19) 我不认为因为自己是中国人或者身高特殊就该特殊。(语)

私は自分が中国人である、或いは背の高さが特別であるからといって特別であるべきだとは思わない。

“因为p就q”のみに注目してみると、これはよく議論される次のような文の前半と平行な構造であると考えられる。

20) 他就要了三张票，没剩几张票。(八)

彼だけで三枚もキップが必要だったので、何枚も残っていない。

両方とも、“就”の前に来る成分が一つの条件となり、その条件についてだけ考えても“就”の後にくる成分の如くであることをいっている。18) の“因为p就q”の部分のみを見てみると、“因为原材料价格上涨”という条件だけで、“说中国经济增长过热”であるということである。

このタイプの“因为p就q”は上の例のように“不能”“不认为”や“难道”の後につき、文の一部となり、話者がそれに賛成していないことをいう表現が多い。

3. 時間的關係を表す“就”

p と q の間に時間的な關係がある場合を見てみる。

- 21) 海娃心里真高兴，爬了起来就往前跑，可是他才跑了几步，就倒在地上，昏过去了。(3)

ハイワはうれしくて、起き上がると駆け出した。しかし何歩も駆けないうちにころぶと、気を失ってしまった。

21) は“爬起来”→“往前跑”また“才跑几步”→“倒在地上，昏过去”とそれぞれ、二つの動作が短い時間内に続けて行われたことを表している。

次の例も、“认得”と“放开嗓子喊起来”の二つの行為が続けざまに行われていることを表しているが、同時に“认得”が“放开嗓子喊起来”という行為をする前提になってもいる。その点では、2. 1でみた15) 16) の場合と同じである。

- 22) 他认得这儿离八路军住的地方不远了，就放开嗓子喊起来：“鬼子来了，八路军叔叔，打呀，快打呀！”(3)

彼はここが八路軍の住んでいる所からすでに遠くない所であることに気づくと、大声で叫んだ。「日本軍が来た。八路軍のおじさん、やっつけて、早くやっつけて」と。

前提を受ける“就”と時間的な關係を表す“就”は全く別個のものというよりは、同じ線上にあるものであるといえよう。

4. まとめ

“就”の働きの一つは、範列的な要素と切り離して一つの要素を指し示すことである。その他に、ある一点に焦点をあてる用法があり、1・1・2や2. 1で指摘したのがそれにあてるものであろうと考えている。単文の中の“就”にも同様の用法があると思われ、今後その研究もしていきたい。

注

1. 他不是蒙族，就是满族。(八) 彼はモンゴル族でなければ満州族だ。
2. 石田 (1993)、玄 (1993)。

<用例出典>

印のないのは作例

- (八) 《现代汉语八百词增订本》1999年，商务印书馆。
- (地) 《十万个为什么 地学1》1980年，少年儿童出版社。
- (化) 《十万个为什么 化学2》1980年，少年儿童出版社。
- (物) 《十万个为什么 物理1》1980年，少年儿童出版社。
- (医) 《十万个为什么 医学2》1980年，少年儿童出版社。
- (3) 《365夜故事》上下 少年儿童出版社。
- (空) 《空中小姐》王朔，亦凡公益图书馆。
- (语) 北京大学汉语语言学研究中心语料库。

<参考文献>

- 石田知子 1993. 「试说汉语中的副词“就”」, 『お茶の水女子大学中国文学会報』
第12号, P15-29。
- 吕 叔湘主编 1999. 《现代汉语八百词 增订本》商务印书馆。
- 玄 宜青 1993. 「“就”の取り立て用法について」, 『法政大学教養部紀要 (外国語学・外国文学編)』 85, P181-193。